

令和元年度 第 16 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事録  
【概要版】

日 時 令和 2 年 1 月 28 日（火） 18 時 30 分

場 所 北広島市役所 4 階会議室 C・D

出席委員 □山崎悦子 □佐藤学 □木田勝彦 □三上太一 □山田久俊  
□水口真

欠席委員 仲川委員・三浦委員・善甫委員

（事務局）山田基課長 米村恒主査 山本梢主事

■ 事務局

1 配付資料の確認

2 出席委員紹介

本日はよろしく願いいたします。

開会に先立ちまして、本協議会に座長を置くという決まりになっていますので、座長をまず決めたいと思います。特にご意見がなければ事務局一任とさせていただきますが、いかがでしょうか。

■委員各位 異議なしの声あり

■事務局 座長指名（市経済部理事）

■座長

本日は、報告案件が 2 件と議事案件 1 件、意見交換という次第になっています。

それでは、報告事項 1 の「北広島市観光基本計画」の見直しについて、事務局から説明をお願いいたします。

■事務局

それでは観光基本計画の見直しについて報告をします。

平成 31 年の 3 月に改訂したもので、改訂内容としましては、ボールパーク建設決定を受け、基本計画の見直しを行ったところです。見直しの大きな点としましては、29 ページ、第 4 章の重点プロジェクトにおいて、ボールパークの開業に向けた新たな観光まちづくりの推進という項目を追加したものです。ボール

パーク開業に向けましては、各種のプロモーションを実施するほか、近隣自治体との連携施策を検討することで、新たな観光コンテンツの創出を図り、にぎわいと魅力あるまちを目指すこととしています。また、2020年度までの計画期間を23年のボールパークの開業に合わせ、22年度まで延長をしています。

基本計画に使われていますデータにつきましても、最新の数字に変更したというのが今回の改訂の内容となっています。以上です。

#### ■座長

観光基本計画につきましては、総合計画に合わせた時期・内容で策定されたものと思います。具体的には、今回重点プロジェクトの1つにボールパークの部分を加えて、さらには次の改訂時期を2年間延ばしたということですが、具体的に重点プロジェクトとして取り組む事業は決まってきているのでしょうか。

#### ■事務局

具体的なものでいうと、広域連携への取組で、近隣の市町村を対象にボールパークの連携協議会・周遊部会が設立されています。その中での検討として、各自治体の観光資源的なものの連携や物産関係の連携など、現段階では情報交換で洗い出しを行っている状況です。

今後、より具体的な検討に踏み込んでいくと考えています。

プロモーションについては、もう少し、スタジアム以外のボールパーク事業の内容がわかってきたら、首都圏なりインバウンドに向けて実施をしたいと思っています。以上です。

#### ■座長

事務局の方から報告案件ということで基本計画の見直しの部分についてお話しをいただきました。各委員の方から何か意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

#### ■委員

スタジアム以外のところについて具体的にになったら、ボールパークに関連する観光について考えていこうというお話でしたけども、具体的になる時ってどのくらいと見通しをもっていますか。

■事務局

37 ヘクターの開発ですから、その事業全体がいきなり示されるのか、部分的に示されるのかは、まだ分からない状況です。

■委員

具体的になってきてから取組むというのでは、ちょっと遅い気がします。

■事務局

ボールパーク事業のパーツ部分については、適時首都圏のプロモーションでも、色んな機会を捉えて実施してまいります。

より深いところの部分については、ボールパーク事業の土地利用というか観光資源が見えた段階になると思っています。また、スタジアムは、23年3月開業が明確ですが、スタジアム建設の進行状況が見えてきた段階で、取り組むべきことが見えてくると思います。

■座長

何か具体的に近隣との連携についてアイデアは出てきているのですか。

■事務局

ボールパークに関して申し上げますと、ボールパーク推進課が中心となっていて、オール北海道ボールパーク連携協議会を開催しています。

これは周遊部会や食資産部会、あともう1つですが、そういう部会を設けていまして、かなり広い範囲の自治体、振興局の範囲を超えた自治体や国交省など国の機関、北海道、バス交通事業者で構成され、今現在連携について話を進めているところです。

■座長

スケジュール的なものは、もう何か出ているのですか。

■事務局

協議会自体のスケジュールは、一步一步進めていきたいと思いますという段階です。

今、各自治体の観光資源の洗い出しですとか、連携することにメリット、たとえば周遊しやすさですとか、そういったことを話し合っている段階です。

■委員

行政が中心になっているということですか。

■事務局

事務局は市のボールパーク推進課が所管し、北海道ボールパーク、ファイターズスポーツ&エンターテインメントと一緒に進めています。行政がメインで、オブザーバーで国ですとか交通事業者ですとか、そういった方々が入っています。

周遊部会は観光が中心です。食部会は農政課や農業関係の部署ですとか、商工業関係の部署が参加されています。

■事務局

空知方面と地域がつながっていることもあって、食がキーになっています。

それ以外も、サイクルツーリズムなど各自治体が得意な分野、推す分野もありますので、そこらのすり合わせをやって行っている状況です。

■委員

議論の方向が少し見えてきたときに、市民の方や観光協会の方たちなどを巻き込んで、広域の取り組みについてお願いすることはあり得ますか。

■事務局

北海道ボールパーク主導のものにつきましては、あくまでボールパークの方で近隣自治体を集めています。構成自治体でどういった方法で民間、市民の意見を吸い上げて協議の場に持っていくのかというのは、それぞれの自治体の考えになると思います。北広島市では、市民参加を進めていますので、市民や事業者さんを含めて意見を吸い上げなければいけないと感じています。

■座長

他に何かご意見等はありませんでしょうか。

ボールパークの部分での重点プロジェクトのお話がありましたが、プロモーションやその他の部分で、これまで実施してきた部分に対しましてのご意見等があれば、いただきたいと思いますが、何かございませんか。

■事務局

既存の宿泊業者からは、ボールパークの開業に合わせて、近隣地には宿泊施設もできるということで、逆にまた期待しているところがあるというご意見がありました。相乗効果とかですね。

## ■座長

報告1の基本計画については、よろしいでしょうか。

報告2に移らせていただきます。令和元年度の都市型観光推進事業の進捗状況について、事務局お願いいたします。

## ■事務局

令和元年度観光振興課実施事業概要に基づき説明あり。

- 1 観光振興事業の観光協会への補助について
- 2 北広島駅東口臨時観光案内所について
- 3 都市型観光推進事業（継続）の取組について
- 4 広域連携について

「ようこそいしかり誘客促進検討会」

きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会

札幌連携中枢都市圏観光協議会

千歳・恵庭・北広島広域連携観光推進協議会

北広島農泊交流協議会

オール北海道ボールパーク連携協議会、

- 5 サイクルツーリズム等観光拠点整備事業について

## ■座長

報告事項ということで、令和元年度の都市型観光推進事業の進捗状況について事務局から説明がありました。事業等につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

## ■委員

観光振興事業のところで、駅に臨時の観光案内所が設置されましたが、その利用状況はどうでしたか。

## ■事務局

昨年の7月11日から8月30日まで、駅東口のテナントに観光案内所を開設しました。観光コンテンツの紹介やイベント時の会場案内、授乳施設も設けました。また、イベント時の手ぶら観光補助、手荷物の預かり業務、コミュニティギャラリーとして、地域製品の展示や販売、試食・試飲等も行いました。

イベントがあった日は、利用者が多かったのですが、35日間で延べ1,644人と、イベントを除く28日間の利用者では164人で、1日平均6人となりました。

臨時開設でしたので、周知度もそんなに上がらなかった状況です。

イベント開催時、酒まつりの時は700人以上、キタヒロケットの時は108人、ふるさと祭りの時は、2日間で600人位の方が利用されました。

外国人の利用者は7名。中国と韓国の方が利用され、三井アウトレットパークへのバスの時間やレンタサイクルの問い合わせがありました。

その他としては、近隣自治体、丁度東口からJRバスが長沼方面に出ている関係もあり、ハイジ牧場や長沼温泉への行き方についての問い合わせがありました。あとはマンホールカードというコレクターグッズについての問い合わせもありました。手荷物預かりサービスや案内等の必要性ですとか、来訪者の観光の志向など今後の参考となるニーズの把握ができたと考えています。

#### ■委員

私は気が付かなかったのですが、駅に「ここに観光案内所ありますよ」というような表示はなかったようでしたが、そういう案内はされていたのでしょうか。

#### ■事務局

途中から看板を置きました。駅の改札口を出た正面に置きましたが、あまり目立たなかったのが気付かない方も多かったのかと思います。そういった課題も実施したことにより分かりました。

#### ■座長

エルフィンパークには、いろいろな広告物があるものですから、なかなか目立たせることはできませんでした。やはり改札口から出て、正面に観光案内はあった方が、来訪者にとっては利便性があると考えます。

#### ■委員

北の酒まつりはどんな状況でしたか。

#### ■事務局

7月14日・15日の2日間開催しました。観光案内所を開設した時期でもあり、JRヘルシーウォーキングもまつりの開催に合わせて、相乗効果をねらいました。入込客数としては23,000人です。来場者の方は、8割以上が市外の方です。

ふるさと祭りとか雪まつりについては、市民向けですけれども、酒まつりは市外からの入込を期待できる、そういったイベントになっています。

■委員

外国人の方とかは。

■事務局

インバウンドの方は目視ではなかなか分かりませんでした。

日本酒という 1 つの日本文化をきっかけに、クラッセさんやいろいろなところに来ていただいている人をこちらに来ていただくなり、逆に行っていただくなど、今後期待できると考えています。ただし、アルコールが入りますので、移動の環境整備が課題になると思います。

■委員

会場が駅前で、いわゆる車を利用しないでも来やすい環境と思います。私も現地を見て盛り上がりはもう十分わかっていますけれども、場所的には、外国の方に向けた観光施策でもあるのかなと思ったのと、市外の方が多く来ていただけているというのは、すごく良いと思いました。

■座長

銘柄が全国各地から揃っていて、銘柄って目指して来られる方がいます。

お祭りを続けることにより、継続的に来ていただけるファンが増えてきています。

■委員

すごく良いなど。もっと広げられるように、発信というか、できると良いと思います。

■座長

案内所を開設してみて、アンテナショップ的な機能を充実できればよかったという思いがありました。北広島産のお米やお酒を買いたいだとか。北広島市って何かと来訪者が思った時に、そういったものが連想されます。それと、開設期間中の「meiji カップ」の時は、朝の 7 時前からゴルフ場への連絡バス乗り場に行列ができ、その中には、ホテルをチェックアウトした方もいて、荷物を置くのに案内所を利用されていました。

■座長

各事業の成果について、ここ数年の成果をお話いただけますか。

■事務局

観光のプロモーションでは、実数として入込客数にどれだけ反映させたかを成果として述べるのはなかなか難しいところがあります。ゴルフツーリズムコンベンションや「ようそこいしかり」の管内連携については、実際に誘客のPRができています。きた北海道の稚内市から南の札幌市までをつないだルートへの観光客誘致は、三大都市圏に集中しているインバウンドをあまねく地方に誘客するという取組になりますから、そういった部分では自治体ごとに考え方があり、パッケージを作っているというのが実態になります。今後の取組みとしては、そこに実際の誘客が結びついて、何らかの形で経済的な部分も含めて消費行動が起こることを最終的には目標としています。農泊交流協議会についても、今年度は試験的なツアーが組まれたり、サイクルツーリズムについてはツール・ド・キタヒロを通じて北広島のまちの魅力を発信したりして、イベントをきっかけにまちのお店を知るとか、北広島の自然に触れるっていうことで、その後の再来訪につながっているという状況も出てきています。ただ、それが実態として何人というところまでは、なかなか明示できていないというところは課題です。

■座長

何かご意見等はありませんでしょうか。

■委員

(配付のパンフレット・冊子から) この農泊の冊子はどこで配られるのですか。主に市内ですか。これは多言語化されていますか。

■事務局

ウェブサイトからも見られます。外国語のものについては、海外でのプロモーションに使用しますし、日本語版につきましては、市内の方に置かせていただきます。北広島市だけではなくて、近隣市町村の一部も載っていますので、周遊に結びつけば、本市だけではなくて連携した中での効果が期待できます。

■事務局

パンフレットにつきましては、1,000 部位刷っています。配布先としてはクラ



ッセホテルと三井アウトレットに置いているのと、市内にある民泊の施設にも配布しています。あとは、札幌の観光案内所と狸小路にありますツーリストインフォメーションセンター、札幌国際プラザです。

■事務局

この冊子は、農泊のコンセプトブックに近いものになっています。「北広島でこういう体験できる」というのをイメージしてもらう目的で作っています。

■委員

英語版だけですか。

他の中国語とか韓国語を出す予定はないのですか。

■事務局

今のところは英語のみで対応することとしています。

■委員

載っているモデルさんが全員白人に見えるのですが、誘客のターゲットが決まっているのですか。

■事務局

アジアを決して否定しているわけではなく、優先順位からいくと英語版を先に作らせていただいています。日本語については、中国語と表記に近いこともあって、漢字でイメージできる部分もあります。多言語化は今後の課題だと思います。

■委員

英語版は良いのですが、モデルが偏っている気がして、どうなのかなと思います。

■委員

ウェブページみたいなものはありますか。

■事務局

今のところはありません。

■事務局

一般的に日本に来られるアジア圏の方も、日本人よりも英語が分かります。多言語表示も、英語、中国語の簡体・繁体、ハングル、たくさん載せるのもいいで

すが、英語くらいにしておくのが観光景観上は良いと言う専門家の方もいらっしゃいます。QRコードで読み込んで多言語になるとかそういったものも、今後は検討していかなければならないと感じてい考えます。

■座長

他にご意見等ありますでしょうか。

グリーンツーリズムや農泊など新しく取り組んでいますが、何か施設などはできてきているのですか。

■事務局

グリーンツーリズムというのは結構前から長くやっています。例えばエーデルワイスファームさんの施設であったり、アルトラージェさんみたいなアイス・ジェラート屋さんがあったり、ホクレンくるるの杜さんのような体験施設がグリーンツーリズムの施策でやっています。

農泊については、どちらかというとな農業事業者さんとの関わりの体験、参加というのがメインとなっています。課題としては、実際にお客さんを受付ける機関が必要であるとしています。具体的には、観光協会や、あるいは農泊交流協議会がそういう事業を実施しても良いと思っています。

■座長

他になれば、次に移ってよろしいでしょうか。

■委員各位

はい。

■座長

3番目の議事に移ります。これまでのことを踏まえて、今後の10年間に向けた観光政策の展開をどうしていくのか、ご論議いただければと思います。

事務局お願いいたします。

■事務局

1 資料「総合計画第6次素案」をもとに説明

「第5節 観光の振興・シティセールスの推進」

■座長

議事案件になっていますが、特に承認を求める議事ですか。

■事務局

ご意見をいただければと考えています。

これは、ホームページ上でパブリックコメントしている資料になります。

広くご意見をいただいている状況です。

■委員

今ある計画から今後の10年間で、大きく変わるところはどこですか。

■事務局

変更点につきましては、これまで観光振興においてイベントの充実とプロモーションが主に書かれていたところについて、観光基盤の整備をしっかりと位置付けているところがポイントかと考えます。

例えば、地域の人材を基盤要素として取組むことや観光客の受入環境の整備に取組むことを強調しています。また、「交流・多文化共生」への取組みとして、地域の国際化、地域に多文化共生の意識醸成を必要としているのが、今の新しい動きと思っています。特にサインの問題については、いろいろなご指摘をいただいております、私等も大きな課題と思っています。一般の招聘事業でアジアの方を招聘した際に、駅を見ていただきましたが、真っ先に言われたのが「情報が多すぎて、どこを見て良いかが分からない。」という反応でした。

特にアジアの方にとっては、中国語ができる圏域の方になると、日本語の文字(漢字)から理解できるようですが、その分余計な情報として入りやすい面もあります。来訪者が円滑に移動し、目的地に着くということが、一番大事なことと思っています。そういう意味から、新たな総合計画ではそういう点を強調しています。

■座長

北広島市の観光ってざっくりばらんところで、こうあったら良いなというようなご意見などもいただければと思います。

■委員

新旧の総合計画を単純に比べられるものではないのかもしれませんが、5次の方の基本的方向には交流人口や定住人口を増やすという、人口を増やすというような目標がありますが、それが今回は無いようすが。

■事務局

第5次長計の計画の考え方としては、当初計画時点で60,000人強の人口を将来人口61,500人に引き上げる計画になっています。そういう意味でいくと、定住人口を増やすという計画です。観光については、北広島を知るきっかけを作り、交流人口を増やすことで、最終的には定住を目指すとしています。

新しい6次長計については、その部分の考え方が変わっています。

■座長

全国的に人口減少はある程度見えてきています。北広島市としては、どのくらいの人口を目指すのかについては、本日お示しした資料以外の章で詳しく書かれています。

■事務局

新たな計画案では、定住人口と交流人口に加え、関係人口という言葉が、新たに出ています。

■座長

人口について言いますと、将来人口については減る要素が大きいです。新たな計画による施策の実行とボールパーク効果によって、現状維持よりも60,000人を目指す方向で今論議されています。

■座長

観光に係る交通課題とかいろいろあると思いますが、大曲地域の方にとってみれば、その辺はどうでしょうか。

■委員

コメントし辛い。ボールパークができることによって多くの方が来られるということで、車ばかり公共交通もですが、受入がどれくらいできるのかが大事なのかなと思っています。今現状のキャパでは、(当然計画はされているのでこれから見えてくるのかなとは思いますが、)厳しい。道路にしても、電車、バスを含めて厳しいと思っていますので、ボールパーク周辺だけではなく、そこを中心にその周辺、さらに周辺について、どう交通が影響してくるのかを見ていただければと思っています。観光地としては分からないですが、そこを中心にするんなどころに行ってもらいたいというのが、たぶん皆さんの考えだと思います。

すので、そのためには、どうルートを作っていくかというのが大事だと思います。

■事務局

移動の部分でいくと、分担率が計画上作られていて、自家用車であったり、公共交通であったり、あるいは自転車等について、その分担率が適正に計画通りにならないと、やはり市民生活に支障が出てきます。ましてや一般的な移動にも妨げになるということもありますので、それについては交通解析も含めてある程度作られてきていて、それらから道路網が整備されていきます。

■座長

ゴルフ場さんの方は、本市の観光についてどうお考えでしょうか。

■委員

去年あたりからは、北海道全体、韓国からのゴルフのお客さんがかなり減ったというのはかなり大きな問題です。この状態がいつぐらいまで続くのかちょっと心配なところではあります。あとはゴルフ場で言うと、ボールパークができるというと逆にゴルフ場で働いている人たちがそっちに職場を変える流れになるのではという心配もあります。

実際にボールパークの運営は、冬はどうなるのですか。具体的に。

■事務局

通年で楽しんでいただくというコンセプトを持っています。

ハイシーズンだけではなく、冬は冬のアクティビティ、そういったものの提供も検討されている状況です。スタジアム自体は、冬期間はクローズされているのかもしれませんが、その外周についてはそのように検討されているということです。

■委員

ゴルフ場業界で話題に出るのが、ボールパークができると、例えばゴルフ場のキャディさんですとかそういった人たちがどういう風に流れていくのか、ゴルフ場に留まってくれるのか、その辺はちょっと心配になっています。

■事務局

サービス産業は、レベルの高い資質を求められていて、コミュニケーションス

キルも求められると思います。人材集めについては、競争がすごくあるというお話は聞いています。

#### ■座長

ホテル業界はどうでしょうか。海外からの観光客の変動が経営にも影響があるだろうと思います。また、今後新幹線の延伸で東北の方から修学旅行だとか旅行客の流れに変化が生まれる可能性とか、そういう点はいかがでしょうか。

#### ■委員

修学旅行に関しては、非常に件数が減ってきているのが現状です。

先ほど話題になっていましたけど、農泊にどんどん切り替えていっている学校が多くなっています。ホテルに泊まるよりも、農泊で提携先を捕まえて、宿泊を移しています。見学よりも体験型が多いので、どんどんホテルからシフトしていくと思われます。今回、中国の問題に関しても、中国にかなり依存していたわけではないですけど、やはりそれなりのシェアはあったので、かなり大きなダメージはあります。

早急に手を打ちながら、違う国にシフトしないといけない。日本のお客様、訪日のお客様に関しても、札幌市内でも同じような状況なので、どんどんホテルはできているが、宿泊客は少なくなってきています。

札幌で宿泊予約ができることから北広島から札幌に宿泊客が移動しています。

そういった流れも、この北広島市で、私どもの特色ある部分をなんとか強調しながら、集客する手を打っているところです。

#### ■事務局

北海道は、自然とか環境の良さとか空気の良さというのが売りになるのかなって思います。農泊の話ですけれども、近隣自治体とお話しする機会があり、農業従事者が減っていて、前は農泊を受け入れていたが、縮小しているような話も聞いています。ホテルと連携して農泊を進めることも考えられます。

#### ■委員

そうですね。農家さんに負担が大きすぎるので、宿泊はホテルという考え方もあります。

■事務局

実際地元の農業従事者さんも、繁忙期には農泊事業をお手伝いするのは大変なので、いかにそれがなくアテンドできるような仕組みを作れるかが課題と考えています。

■座長

計画案では、「札幌広域観光圏推進協議会」の団体名がなくなったのですが、これはどういう理由ですか。

■事務局

広域観光圏の取組は、もともとの枠組みが札幌市周辺自治体の範囲でありました。その取組みの中から観光の施策展開部分については、札幌広域観光圏推進協議会が実施し、平成30年まで活動していました。札幌市が事務局となり、札幌圏全体の観光のいろいろなプロモーションや共同の取組を実施するということで、例えば北海道じゃらんさんに札幌広域観光圏推進協議会として広告を出して管内を周遊させる企画等も行ってきました。

その枠組みについて見直しがあり、現在は連携中枢都市圏として、札幌市が中心となって、西は小樽市、北は岩見沢市、南は千歳市まで入った枠組みを法令で作っています。今年度から事業を進めています。

■座長

その他に何かございませんでしょうか。

■委員

昨年、商工会で観光のモデルコースを作って、50周年事業ツアーを実施しました。この観光コースを活用していただき、行政と商工会、観光事業者と一緒にやっていけるようなことがあれば良いと感じました。

■事務局

今お話しいただいた事業については、行政も委員として参加しました。うまく事業者同士が連携できればお金も効率よく使えるようにやっていけると考えます。そういう意味でいくと、風通し良く情報交換をしなければならないと考えます。

## ■座長

その他に何かございますか。よろしいでしょうか。まだしばらくの間、計画案につきましては、パブリックコメントができますので、お戻りになってお気付きのことがあればお報せ下さい。議事案件は終わらせていただいて、意見交換ということで、事務局の方で何か話題提供はありますか。

## ■事務局

その他何かございましたら皆さんからお話しいただいて結構です。

## ■委員

昨年、観光協会では「観光協会の在り方について考える検討委員会」を設置し、答申をいただきました。その答申を受けて、今後の目指す観光協会の組織像を、「守る・育てる・創る、そして北広島の未来を拓く」としました。また、これに基づいて運営方針を4つ掲げさせていただきました。1つは、観光資源の掘り起こし、磨き上げ、創出、活用。そして、都市型観光の推進。広域型連携型観光の確立による地域の活性化。持続可能な社会形成に寄与。このことについて決定させていただきました。

今年度につきましては、駅東口に臨時の案内所を開業しまして、自立に向けた活動を進めたところです。また、市に対しましても、観光協会に対する支援の拡充、観光客の誘致・促進に対する支援、それから市内観光事業者に対する支援の拡充。この3つについての要望を行い、1月からは観光協会事務局の嘱託職員を1名採用しております。このような独立・運営に向けて取組をしているところですので、皆さま方にも引き続き、新しい観光協会の設立に向けてご支援、またはご意見、ご鞭撻をいただければと考えています。

## ■事務局

事務局が市で観光協会は任意団体で運営しています。

私どもの方で事務局をやっていることで、組織強化ということで、今会長がお話しいただいた通り、なんとか法人化を視野に、準備を進めているところです。引き続きいろいろご支援等、ご助力をいただければと思います。

## ■座長

観光協会におかれましては、今までイベントを中心にし、ふるさとづくりとい



うことで40年間一生懸命事業を進めてきました。今後につきましては、酒まつりが順調になってきたということもありますし、さらには近隣自治体の連携をしながら北広島の観光をつくっていかねばなりません。プラスまちづくりにも貢献しようとする会員のご意見もあり、市としても支援する方向となっています。ぜひとも観光事業者様にもご配慮をいただきたい、ご加入等も検討いただければなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

その他に何か情報提供とかありましたら。よろしいでしょうか。

■事務局

北広島都市型観光推進協議会につきましては、平成26年に設置した協議会ですが、長く同じ方々に委員を務めていただいております。

来年度は、改選を考えております。以上でございます。

■座長

計画案を見ていただければ分かりますが、新しい推進計画の中では成果指標を掲げることとしています。今後、総合計画に基づいて成果が求められるようなこともあり、成果の評価につきましても、この協議会等でご議論いただくことも検討します。

その他何かございましたら。なければ事務局の方にお返しします。

■事務局

たくさんのご意見ありがとうございました。

これもちまして、第16回きたひろしま都市型観光推進協議会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。